

1 地域学校サポートチーム配置の目的

「地域ぐるみで児童生徒の安全確保・健全育成」

子どもたちがのびのびと安心して生活できる環境づくりとして「①交通安全，②不審者被害の防止，③暴力行為やいじめ等の問題行動の早期発見・未然防止」を推進する。その体制づくりのため，学校ごとに「地域学校サポートチーム」を組織し，地域における子どもの安全確保や健全育成を図る。

2 地域学校サポートチームの活動内容

- | | |
|-------------------------------|--------------------------|
| ○登下校時における安全指導（交通事故や不審者被害から守る） | ○校区内の巡回 |
| ○ふれあい安全サポーターとの連携 | ○その他 市教育委員会・学校長が必要と認める事項 |

3 活動の進め方

- ・年に2回（5月と2月），市内のサポートチーム合同会を行う。合同会議には，サポートチームメンバーの他，ふれあい安全サポーター，小中学校の担当者，青少年育成関係者，教育委員会代表者，市交通安全指導員が出席し，より多くの目で子どもたちを見守っていく。
- ・チームで話し合い，活動計画を立案する。
- ・活動計画に沿って，学校ごとのサポートチームで活動する。
- ・学校担当者（生徒指導主事）と連絡を取り合いながら活動する。

期待される効果

安全確保

- 児童生徒の身体的・精神的安全を確保する
- 学校に対し，児童生徒の日常の安心・安全に関する情報を提供する

健全育成

- たまり場情報，地域情報等の提供により，問題行動等の早期対応，未然防止を図る
- 援助が必要な児童生徒に対して，地域と連携し指導する
- 援助が必要な保護者に対して，地域の実情に即した指導をする
- 「地域が子どもを育てる」という意識を広げる
- 地域の実情に即した青少年健全育成を推進する

【留意事項】

- ※校区内の各小中学校の教育・指導方針をよく理解し，連絡を取り合い，その指示に従う
- ※活動上知り得た情報を他に漏らしてはならない（サポートチームの職を去った後も同様）
- ※活動中は名札を着用する